



Electronics for the Future

2024年度 ESG説明会

2024年10月1日
ローム株式会社
代表取締役社長 松本 功

1. ロームグループの目指す姿
2. 製品・技術を通じた社会課題解決
3. ロームグループの企業活動を通じたESG経営
 - ・ E(環境) : 気候変動への対応
 - ・ S(社会) : 人的資本経営
サプライチェーンマネジメント
 - ・ G(ガバナンス) : コーポレートガバナンスの改革・強化
4. 社外からの評価

1. ロームグループの目指す姿

2. 製品・技術を通じた社会課題解決

3. ロームグループの企業活動を通じたESG経営

- ・ E(環境) : 気候変動への対応
- ・ S(社会) : 人的資本経営
サプライチェーンマネジメント
- ・ G(ガバナンス) : コーポレートガバナンスの改革・強化

4. 社外からの評価

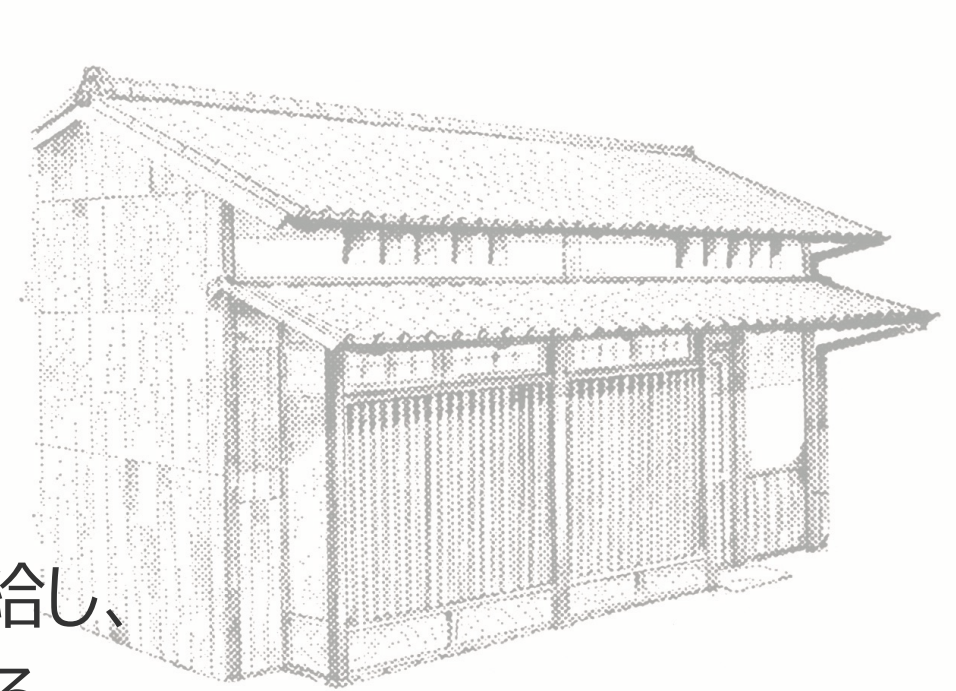


創業以来不変の目的

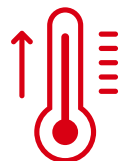
文化の進歩向上に貢献する

企業目的

われわれは、つねに品質を第一とする。
いかなる困難があろうとも、
良い商品を国の内外へ永続かつ大量に供給し、
文化の進歩向上に貢献することを目的とする。



環境問題



世界の平均気温上昇を
産業革命以前に比べ

1.5℃以下に

*出典1

資源枯渇



2030年
再生可能エネルギー比率

36~38%実現

*出典2

人口問題



2050年
世界の総人口

97億人超

*出典3

世界高齢化



2050年 世界の人口の
65歳以上高齢者

16%予想

*出典4

Electronics for the Future

ロームは、**エレクトロニクス**の技術で、**社会が抱える様々な課題を解決し、**
未来に向けて、人々の豊かな暮らしと、社会の発展を支え続けていきます。

*出典1：経済産業省「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略の概要」

*出典2：経済産業省 資源エネルギー庁 エネルギー基本計画（素案）の概要

*出典3、4：国際連合（国連）による推計

パワーとアナログにフォーカスし、
お客様の "省エネ"・"小型化" に寄与することで、
社会課題を解決する



売上は社会への貢献総量であり、
大きな売上成長を通じて、
社会とロームグループの持続的发展を
実現する





企業目的

ステートメント

経営ビジョン

2025

中期経営計画

“MOVING FORWARD to 2025”

“車載” “海外”での成長実現と
更なる成長に向けた基盤作り

2030

グローバルメジャー
の実現

ロームが目指す「グローバルメジャー」とは

1

社会・世界中の
顧客に必要不可欠な会社

2

「パワー・アナログのローム」としての
ブランドの確立

3

パワー・アナログ半導体で
世界トップ10、売上高1兆円の達成

本日は投資家の皆様の関心が高い、6テーマに絞ってご報告します

1	持続可能な技術の強化 革新的な製品の開発、供給	3 すべての人に健康と福祉を 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任	6	従業員の健康と安全の確保	3 すべての人に健康と福祉を 8 働きがいも経済成長も
2	気候変動への対応	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう	7	コーポレートガバナンスの強化	16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう
3	資源の有効活用	3 すべての人に健康と福祉を 6 安全な水とトイレを世界中に 12 つくる責任 つかう責任	8	リスクマネジメント	11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に
4	従業員エンゲージメントの強化	8 働きがいも経済成長も	9	持続可能なサプライチェーンマネジメント	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任 17 パートナリシップで目標を達成しよう
5	ダイバーシティ促進	5 ジェンダー平等を表現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう	10	製品安全・品質の強化	12 つくる責任 つかう責任

1. ロームグループの目指す姿
- 2. 製品・技術を通じた社会課題解決**
3. ロームグループの企業活動を通じたESG経営
 - ・ E(環境)：気候変動への対応
 - ・ S(社会)：人的資本経営
サプライチェーンマネジメント
 - ・ G(ガバナンス)：コーポレートガバナンスの改革・強化
4. 社外からの評価

製品・技術を通じた社会課題の解決 「省エネ」①

社会課題

脱炭素社会へのシフト、限りあるエネルギー・資源の有効活用

ロームの取り組み

省エネルギー化に貢献する パワーデバイス、アナログデバイスの開発

SiCをはじめとする世界最先端のパワーデバイス、アナログデバイスの提供を通じて、世界のエネルギー問題の解決に貢献します。

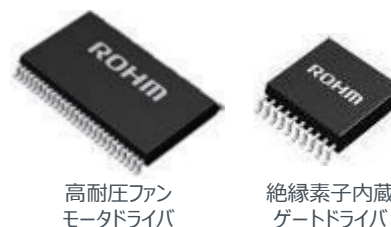
パワーデバイス SiC・IGBT、SJ Mos



電源IC



モータドライバIC (モータコントローラIC)



Sustainable Development Goals



製品・技術を通じた社会課題の解決 「省エネ」②

キーテクノロジー：パワーデバイス

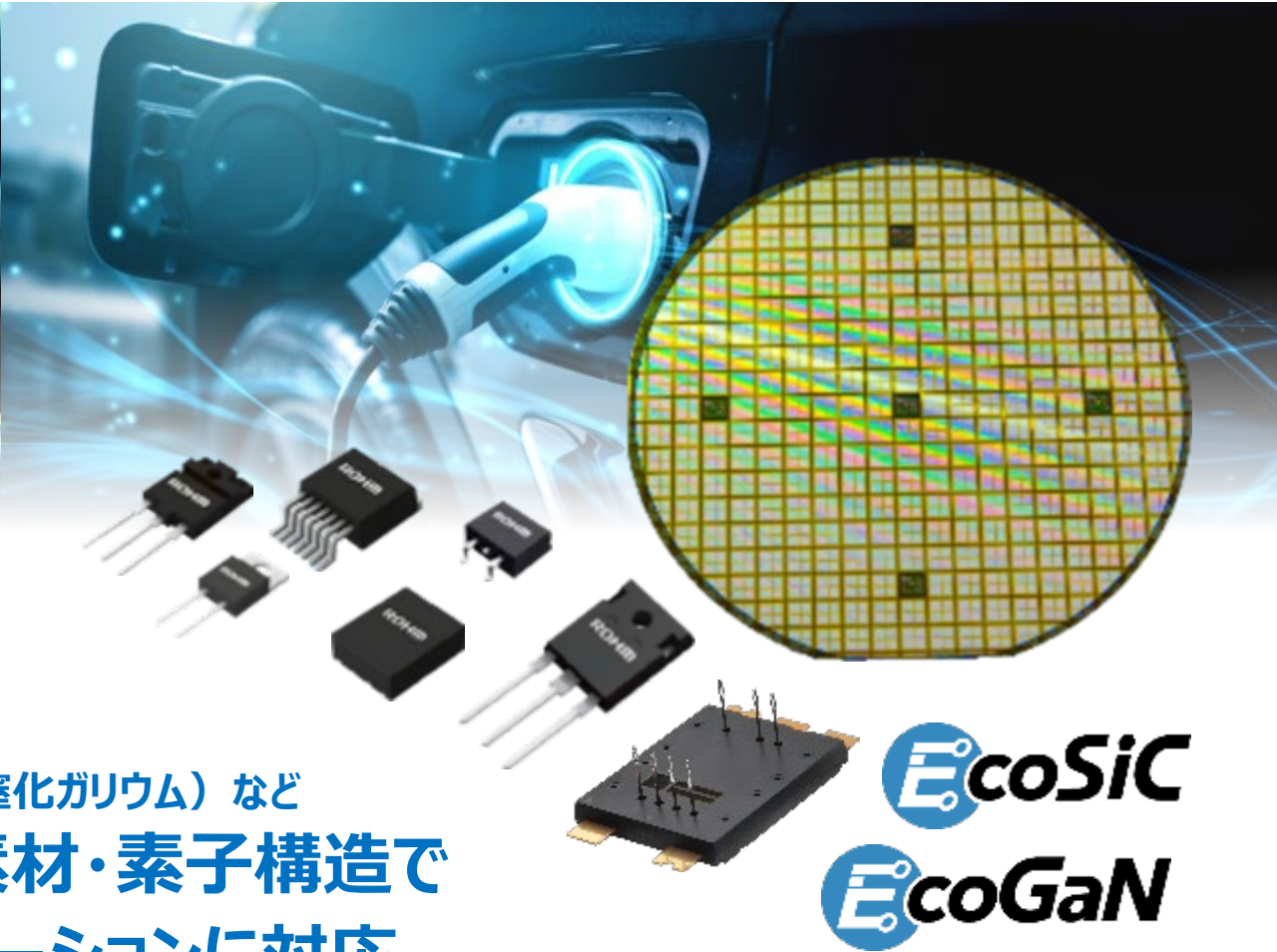


電力をより効率的に扱うため、
多彩な技術を駆使したパワーデバイスに注力

半導体の新時代を拓く

SiC（シリコンカーバイド）で
パワーデバイスを革新

Si（シリコン）やGaN（窒化ガリウム）など
用途に応じた素材・素子構造で
幅広いアプリケーションに対応

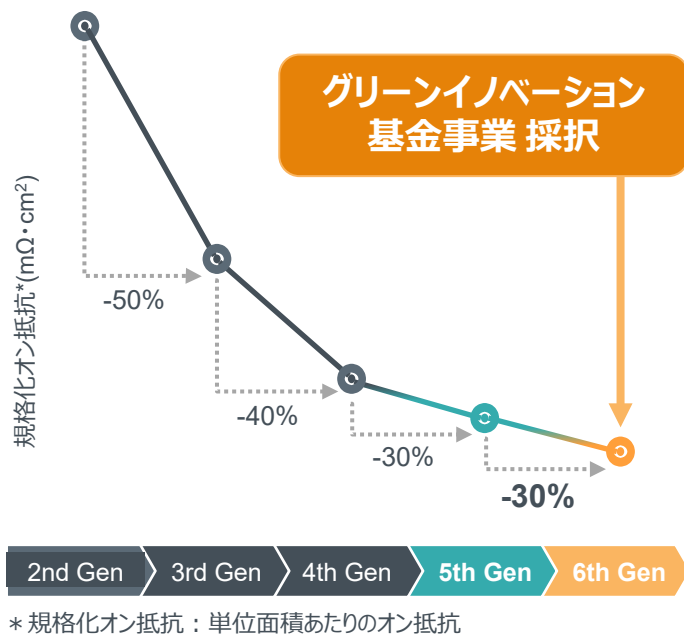


EcoSiC
EcoGaN

製品・技術を通じた社会課題の解決 「省エネ」③

省エネ化に大きく貢献するSiCパワーデバイスの成長戦略

業界をリードする技術開発力



カバー率100%の商品形態

SiC加工プロセス



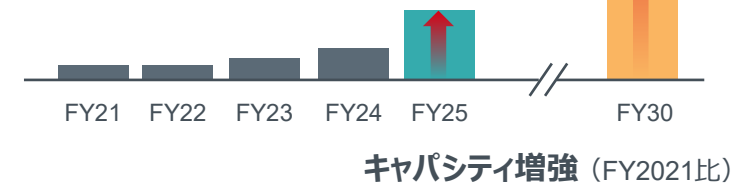
顧客要望に応じた供給形態で納入可能

生産体制を強化

パワーデバイスの供給
確保計画として認定

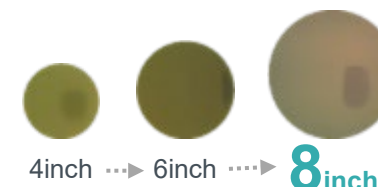


35倍



大口径化

SiCrystal
A ROHM Group Company



SiC事業の売上目標

> 1,100億円(FY2025)、> 2,200億円(FY2027) * 1USD = 145円で換算

製品・技術を通じた社会課題の解決 「小型化」①

社会課題

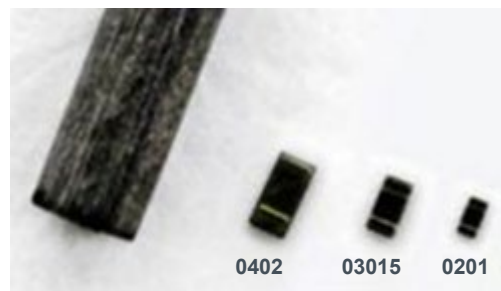
限りある「地下資源」

ロームの取組み

デバイスの小型化による原材料使用量の削減

革新的技術が支える世界最小部品「RASMID」シリーズをはじめとする小型デバイスの開発と市場への投入により資源問題の解決に貢献します。

ダイオード/抵抗器

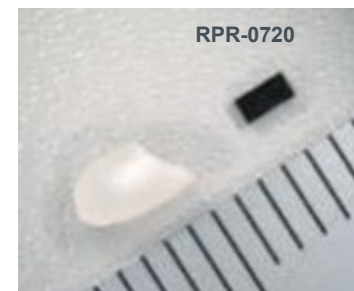


0.5mmのシャープペンシルの芯と比較

抵抗器0402と03015のサイズ比較



フォトリフレクタ



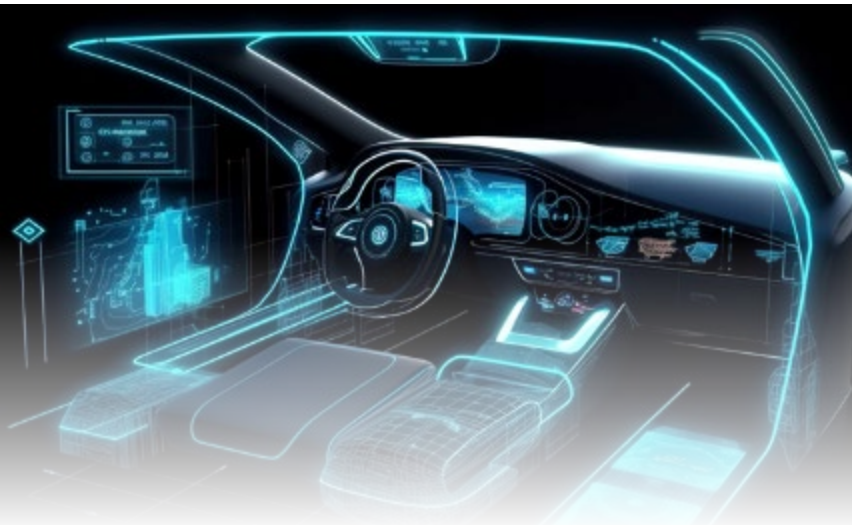
米粒との比較

Sustainable Development Goals



製品・技術を通じた社会課題の解決 「小型化」②

キーテクノロジー：アナログデバイス



長年培ってきたアナログ技術にデジタル技術を融合し
時代に応じた最適なソリューションを提供

スマートな機器を動かす、
**省エネ・小型化の
鍵はアナログIC**

進化し続ける革新的な電源技術
**デジタル技術を加え
精密な制御が可能に**

LogiCoA

Nano
Nano Energy

powered by LAPIS
TECHNOLOGY

製品・技術を通じた社会課題の解決 「小型化」③

さまざまな機器の小型化を実現する製品を順次リリース

サーバーの小型化に貢献
EcoGaN™パワーステージIC



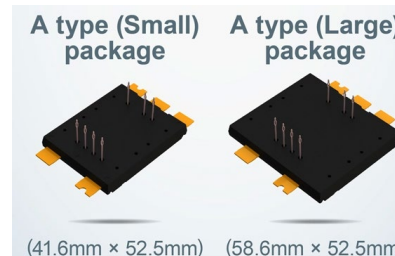
Si-MOSFETからの置き換えで、
部品体積を約99%削減、
電力損失を約55%削減可能

xEV用インバータの小型化に貢献
「TRCDRIVE pack™」



2in1 SiCモールドタイプ新型モジュール。
一般品と比べて**電力密度1.5倍。**

業界トップクラスの性能で大幅な小型化に貢献



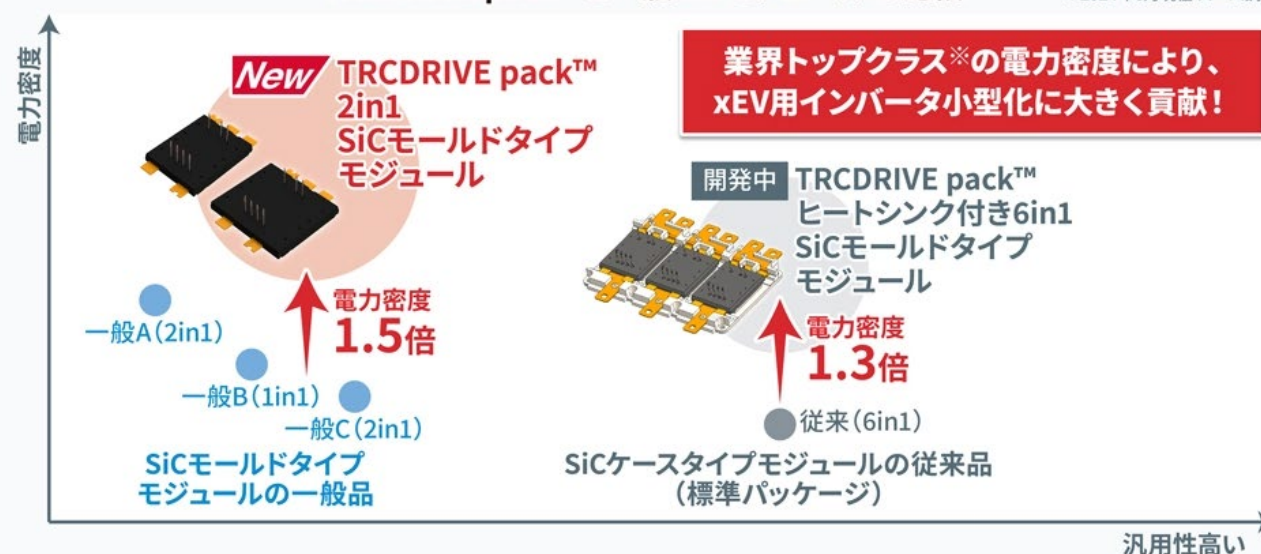
EcoGaN™パワーステージICを使うことによるメリット



低損失化と小型化を実現可能！

TRCDRIVE pack™と一般SiCモジュールの比較

※2024年6月現在 ローム調べ



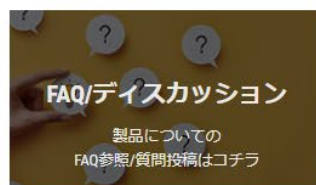
製品・技術を通じた社会課題の解決 「エンジニアの抱える技術課題解決への貢献」

オンラインのコミュニケーションプラットフォームを立ち上げ課題解決と製品開発を促進。
ユーザビリティを高めながら産業機器事業の拡大を図る



2024年7月1日開設

ロームのエンジニアが、直接あなたの技術課題を解決します



FAQ/ディスカッション

製品についての
FAQ参照/質問投稿はコチラ



コミュニティ

技術テーマについての
情報交換はコチラ



お問い合わせ

個別の技術お問い合わせはコチラ

URL :
<https://esh.rohm.co.jp>

1. ロームグループの目指す姿
2. 製品・技術を通じた社会課題解決
3. ロームグループの企業活動を通じたESG経営
 - ・ E(環境) : 気候変動への対応
 - ・ S(社会) : 人的資本経営
サプライチェーンマネジメント
 - ・ G(ガバナンス) : コーポレートガバナンスの改革・強化
4. 社外からの評価

1. ロームグループの目指す姿
2. 製品・技術を通じた社会課題解決
3. ロームグループの企業活動を通じたESG経営
 - ・ E(環境) : 気候変動への対応
 - ・ S(社会) : 人的資本経営
サプライチェーンマネジメント
 - ・ G(ガバナンス) : コーポレートガバナンスの改革・強化
4. 社外からの評価

ロームグループ 環境ビジョン2050

<https://www.rohm.co.jp/sustainability/environment>

3つの重要テーマを設定。2030年度 中期環境目標 達成に向け、着実に取り組みを推進

環境ビジョン2050

2030年度 中期環境目標



気候変動

CO₂排出量
実質ゼロ

- 積極的な再生可能エネルギーの導入や緑化活動等を通じて、**ロームグループ全体のCO₂排出量実質「ゼロ」**を目指します。
- 優れた省エネルギー製品・システムの供給・提案を通じて、お客様と共にCO₂の削減に貢献します。
- 省エネルギーの推進により、半導体製造に不可欠なクリーンルーム等の維持管理に必要な工場でのエネルギー起因のCO₂排出量の極小化を実現します。
- 生産・業務プロセスおよび従来の工法を抜本的に見直しグリーンファクトリー化に挑戦します。

- ✓ CO₂排出量
2018年度比50.5%削減
- ✓ 再生可能エネルギー導入
推進（調達比率65%）



資源循環

ゼロエミッション

- ロームグループ全体で**ゼロエミッション**を目指します。
※海外を含め埋め立て処理1%以内
- バリューチェーン全体で資源を効率的に利用し循環させることで、環境負荷低減に貢献していきます。
- 水の取水量削減にむけ、水資源の利用の高効率化に取り組みます。
- 水資源の再生として、使用した水は綺麗な水に戻して自然に還します。

- ✓ 水の回収・再利用率を
2019年度比5.5%向上
- ✓ 国内海外連結で廃棄物
ゼロエミッション化



自然共生

自然サイクルと
事業活動の調和

- 各拠点において緑化を促進し、地域ごとに生息している生物の保全状況を改善します。
- 生物多様性の価値と、それを保全することの重要性を社員一人ひとりが認識し、生態系への環境負荷低減に努めます。
- 化学物質に関する世界各国の政策・規制への対応・管理を徹底し、化学物質の使用量削減を更に進めます。

- ✓ 各拠点の緑化を促進、
地域固有生物の保全
- ✓ 規制物資に関する世界各国
の政策・規制への対応、
管理の徹底、使用量削減

気候変動への対応の考え方

“ネットゼロ”に向けてのマイルストーンを定め、着実に進展

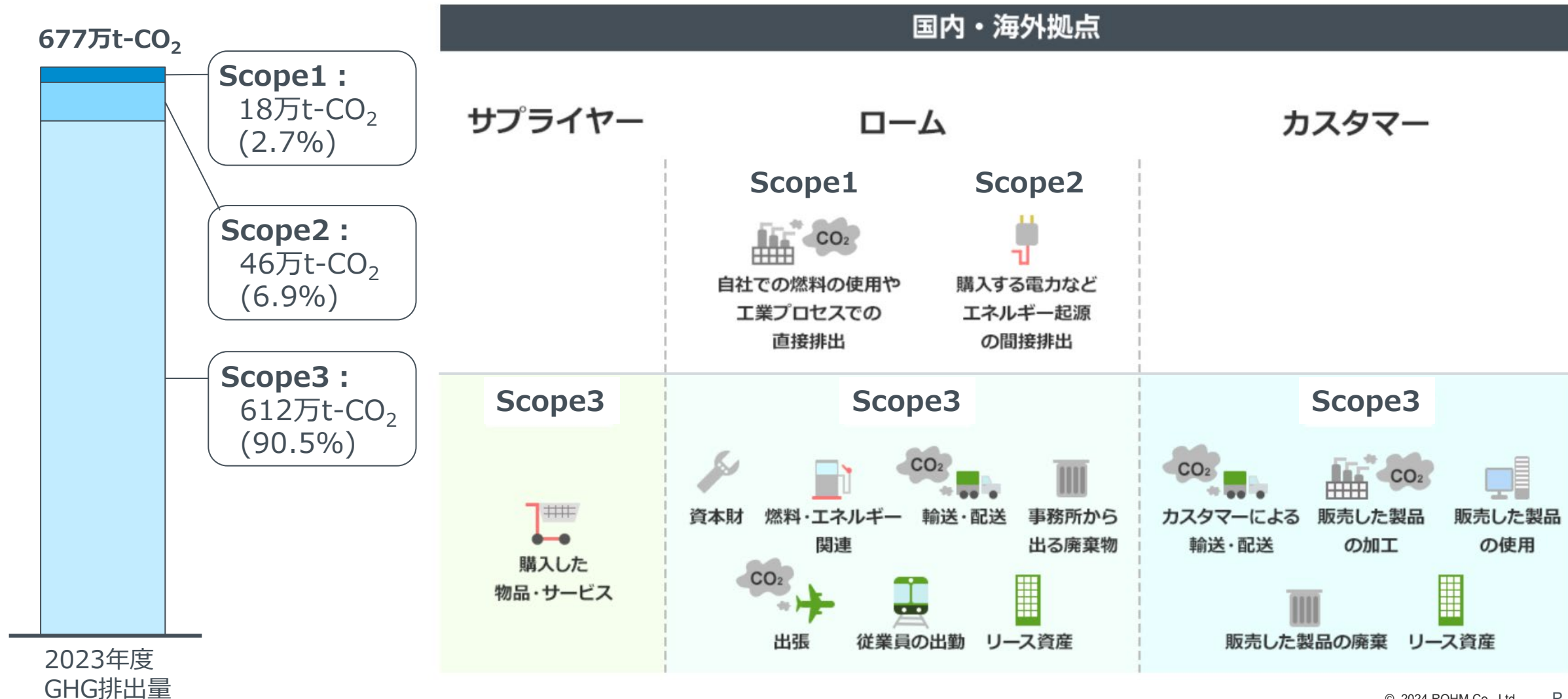


CO₂排出量削減施策の
継続的实施

省エネ設備・PFC除害設備の導入／エネルギー転換（電化）／生産プロセス最適化／材料見直し など

気候変動への対応の考え方

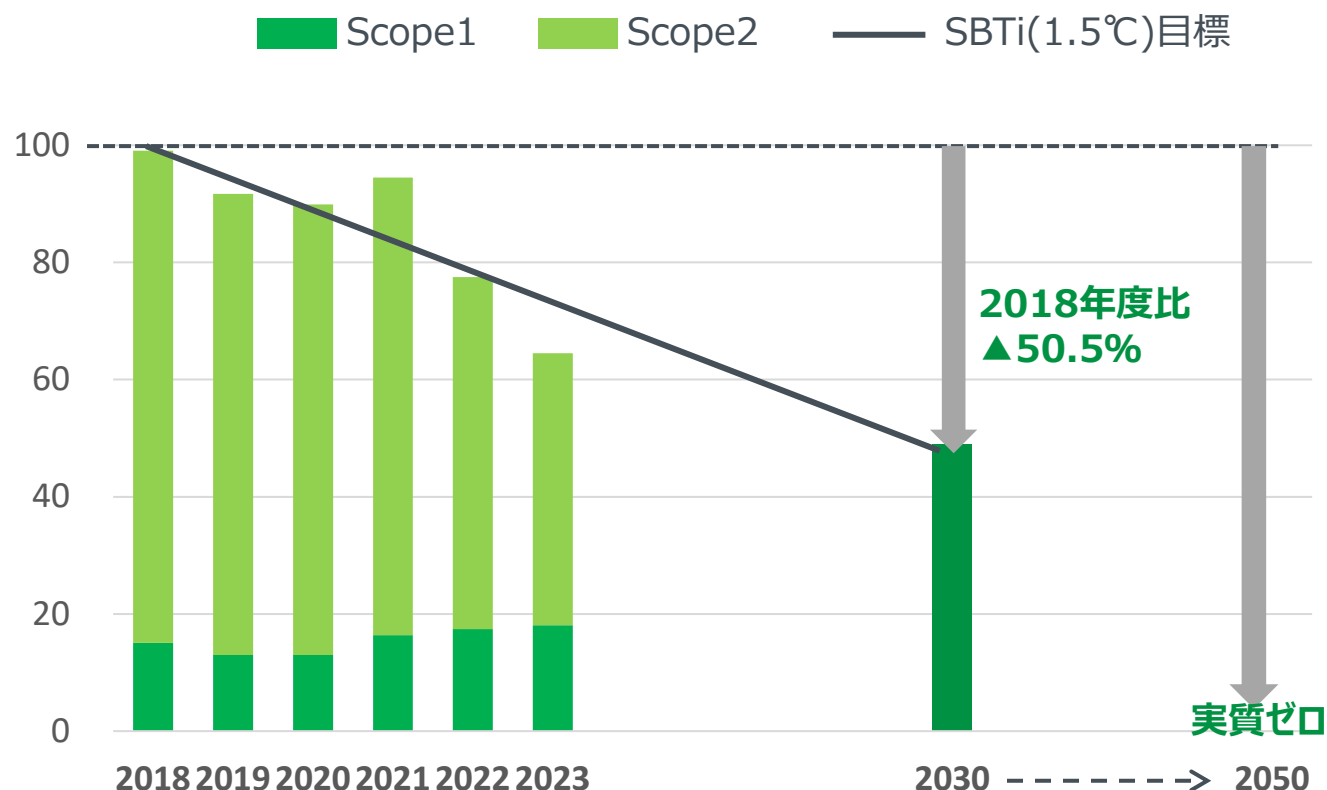
ロームの事業活動に関わるScope1／Scope2／Scope3の割合



気候変動への取り組み：Scope1・2の対策

2050年“ネットゼロ”へScope1・2におけるGHG排出量の削減を推進

GHG排出量の削減目標と実績（万t-CO₂）



主な施策

● Scope1

（生産に伴う燃料の消費・PFCガスの使用に伴い発生）

- ✓ 省エネ型の高効率設備の導入
- ✓ 燃料消費設備の電化
- ✓ PFC除害設備の導入
（2030年 導入完了予定）



● Scope2

（電力の使用に伴って発生）

- ✓ 省エネ型の高効率設備の導入
- ✓ 空調機の負荷低減などによる省エネ化
- ✓ 再生可能エネルギーへの切り替え
（2050年 100%を目標）

気候変動への取り組み：再生可能エネルギーの導入拡大

2050年度 再エネ率100%に向け、導入量を段階的に引き上げ

SiCの主要工程は、すべて再エネ導入

RE100

CLIMATE
GROUP

CDP

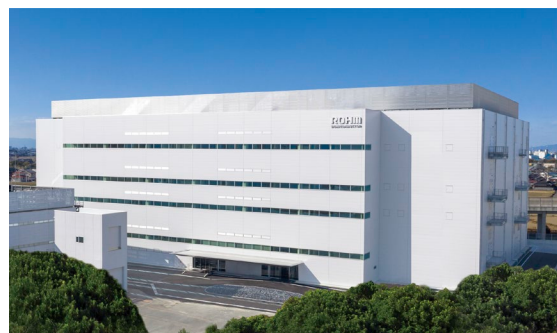
SiCrystal GmbH（ドイツ）



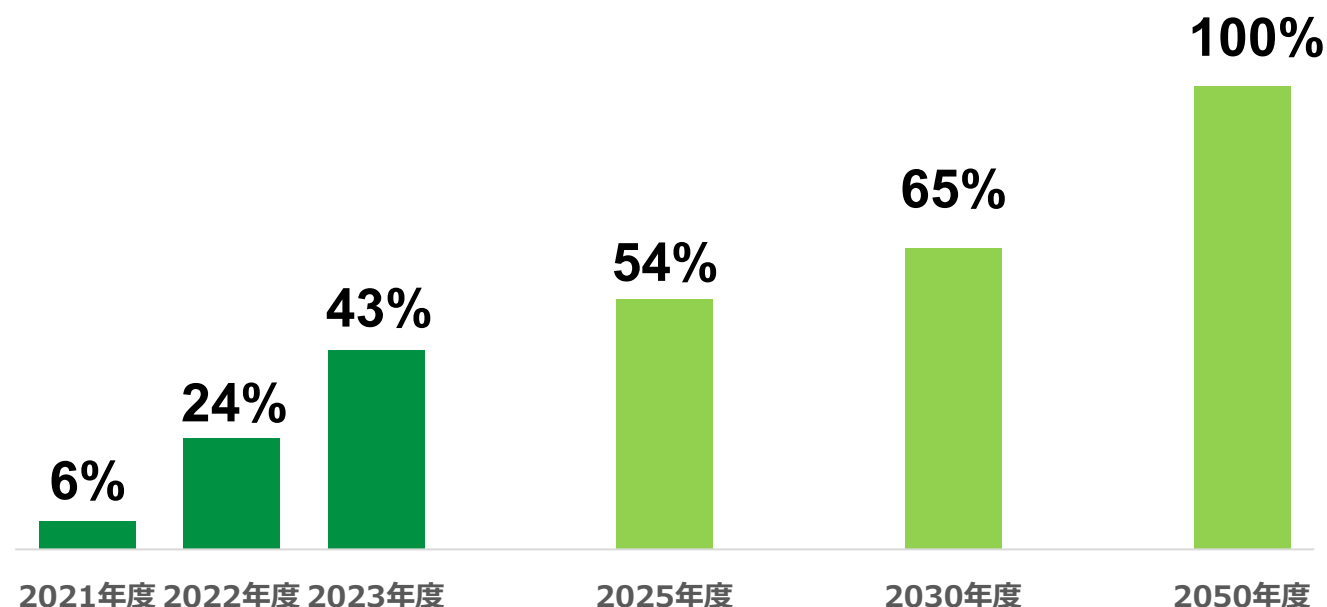
SiC基板
2021年度～

▼ロームグループ再エネ比率

ローム・アポロ(株)筑後工場



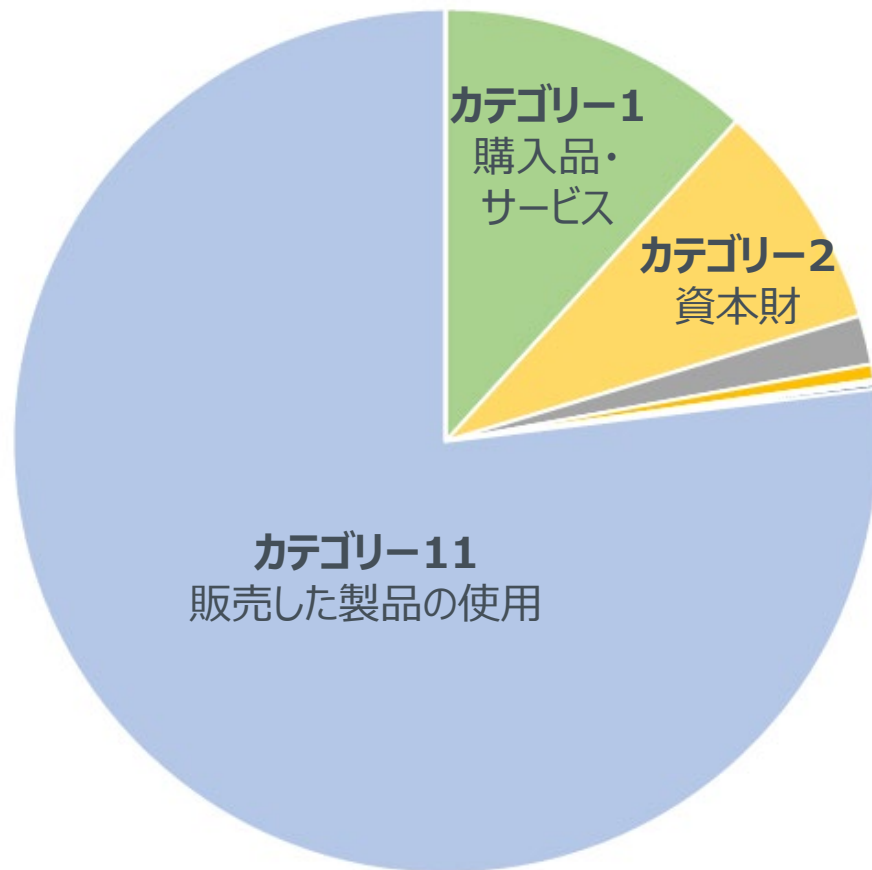
SiCデバイス
2022年度～



※ローム・アポロは、2019年度より再生可能エネルギーを導入

気候変動への取り組み：Scope3の対策

ロームの事業活動におけるGHG排出量の約9割はScope3。
今後より精緻にCO₂排出量を把握し、成果の見える化を進める



Scope3のGHG排出量の割合
(2023年度 約612万t-CO₂)

カテゴリ1

排出量を計算する係数が環境省データであり、
お取引先の削減努力が反映できない



お取引先の直接データに切り替えるべく、
CO₂排出量把握・削減への協力要請を実施

カテゴリ11

ローム製品の省エネ性能の向上による、
CO₂排出量の削減対策を継続



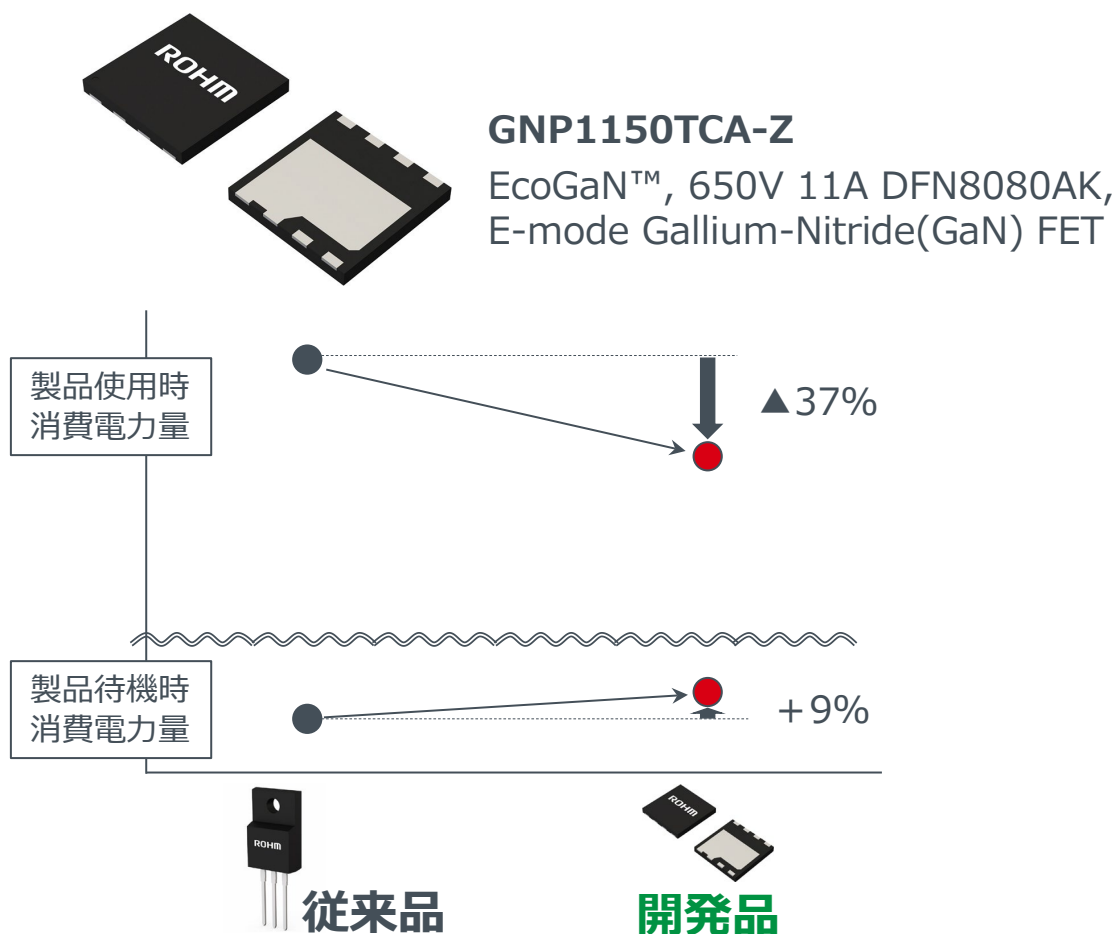
排出量算出において、使用電力や使用状況を過剰
に見込んでいるため、算出方法を見直し検討中

気候変動への取り組み：環境負荷削減貢献量の試算

製品使用時の消費電力の削減量*に着目して試算。
今後、評価・算定方法の確立を目指し、検討を進める



例) 2022年度開発 製品 (GaNデバイス)



環境負荷削減貢献量の試算値*

332 t -CO₂

*試算にあたっての検討

- ・製品単体の消費電力の削減量（従来製品比）
- ・2023年度 販売実績（出荷台数）
- ・想定製品使用年数

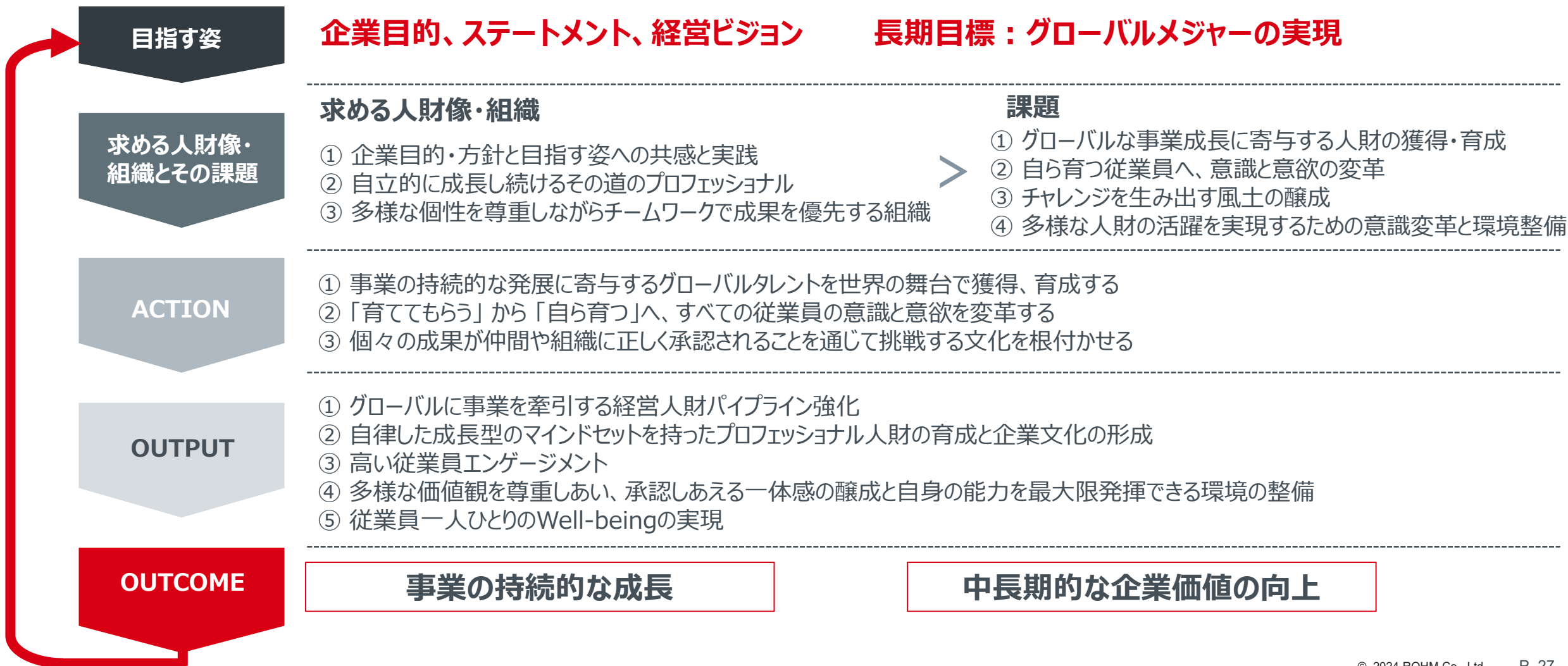
<今後、検討すべき要素の例>

- ・製造プロセスの変更分
- ・製造に伴う部材の種類や使用量の変更分
- ・システム品やアプリケーションとしての使用方法の考慮（使用個数の削減効果など）
- ・新製品としてCO₂削減効果を見込む期間

1. ロームグループの目指す姿
2. 製品・技術を通じた社会課題解決
3. **ロームグループの企業活動を通じたESG経営**
 - ・ E(環境) : 気候変動への対応
 - ・ **S(社会) : 人的資本経営
サプライチェーンマネジメント**
 - ・ G(ガバナンス) : コーポレートガバナンスの改革・強化
4. 社外からの評価

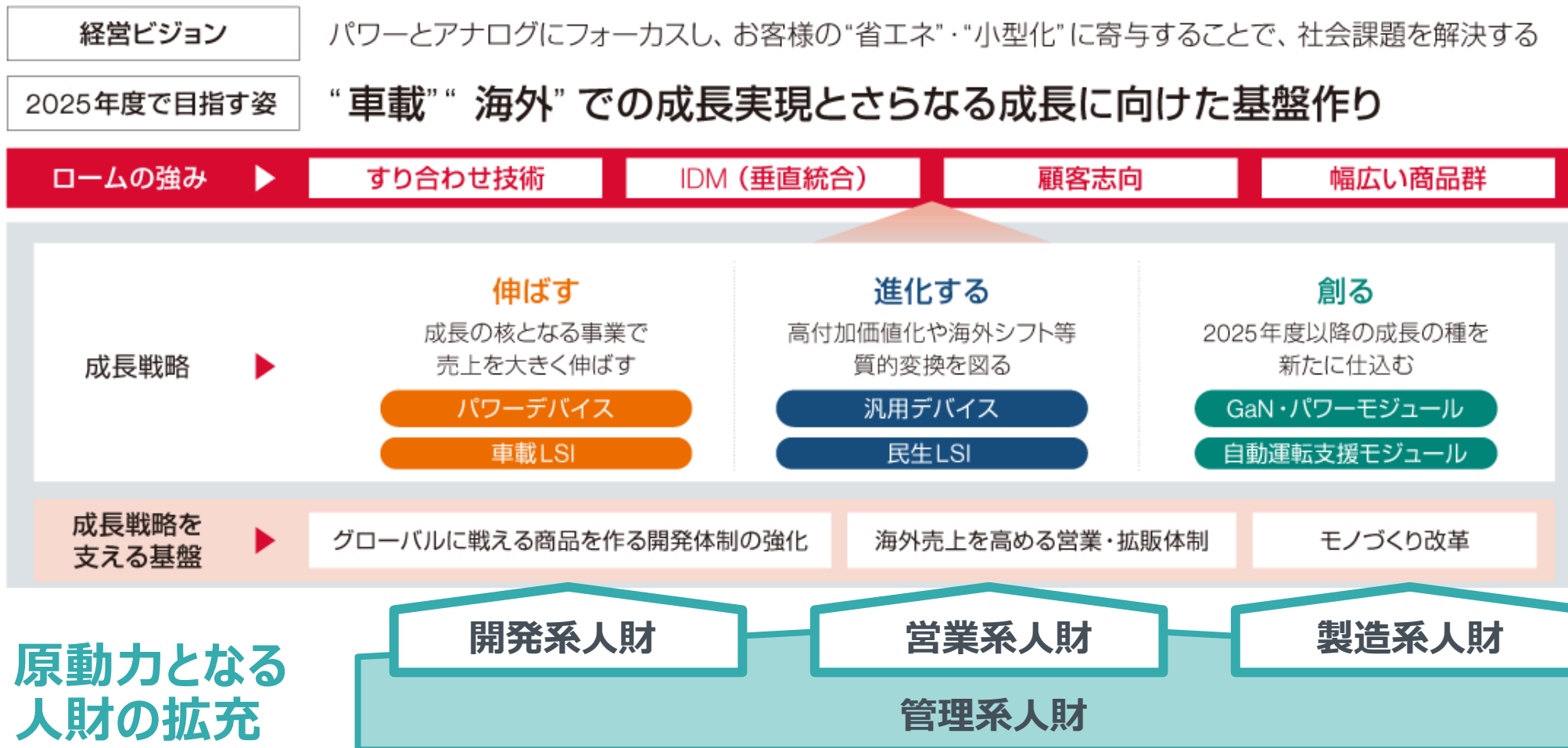
人的資本経営の考え方、戦略

従業員個々の成長を企業に取り込み、企業の利益を個人の市場価値向上のために再投資することで個人と企業の永続的成長サイクルを実現



中期経営計画における人的資本経営

成長戦略及び成長戦略を支える基盤に対して、国内外の開発・製造・営業・管理などの各領域の人財を拡充し、目標達成に向けた取り組みを加速



SiC事業の拡大に向けた人財の強化

注力事業の拡大に向けて、国内外の開発・製造人財を拡充。

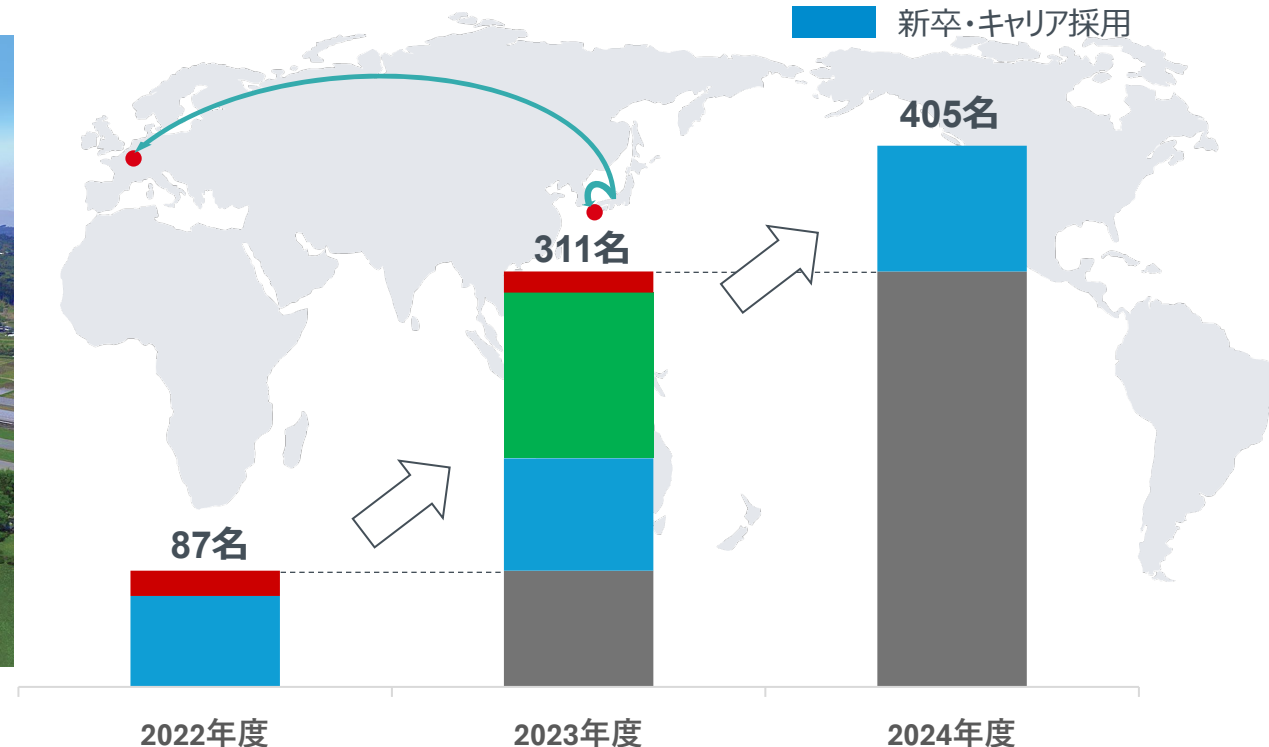
SiCの生産能力を増強中



ルピスセミコンダクタ 宮崎第二工場

SiC関連人員の増員数の推移

- 社内公募・ジョブポスティング
- 本社・グループ会社から異動
- 新卒・キャリア採用

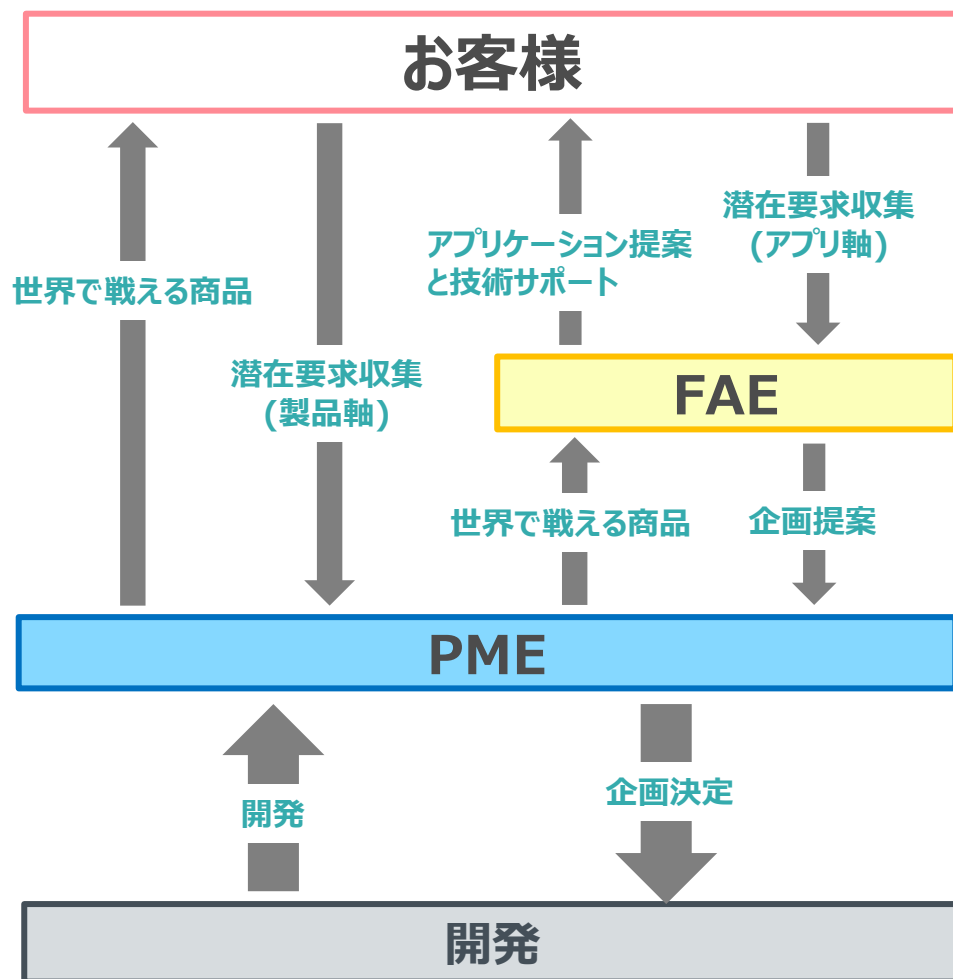


生産能力増強にあわせ、社内公募・ジョブポスティングで自ら手を挙げてSiC事業に参画する従業員を含めて、ロームグループ内異動、新規採用などで人員を拡充中。

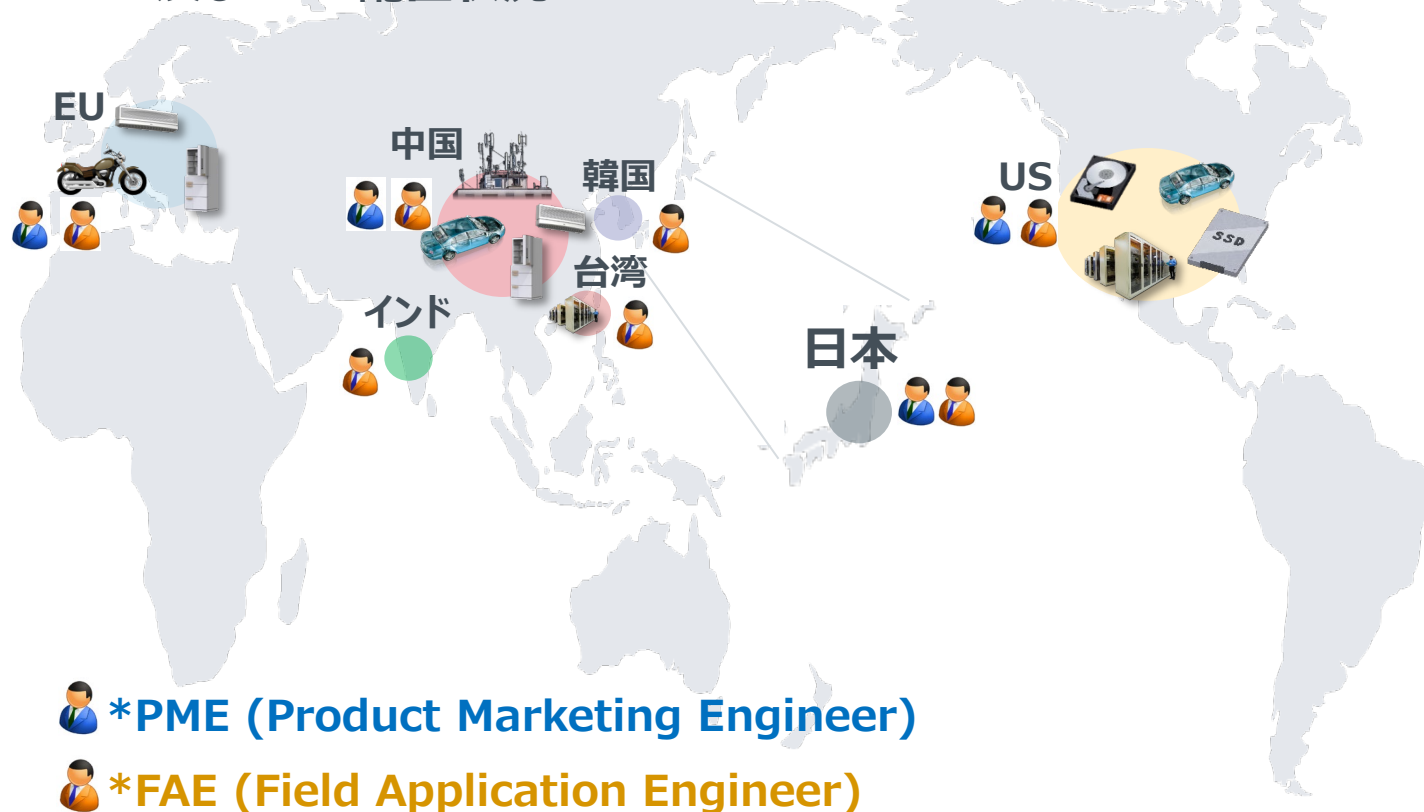
海外のお客様の課題解決を支援する人財の強化

海外のお客様に密着して真の課題を理解し、アプリケーション提案と技術サポートを強化

PME*とFAE*をグローバルで増強中。今後、EU・USでの増強を図る

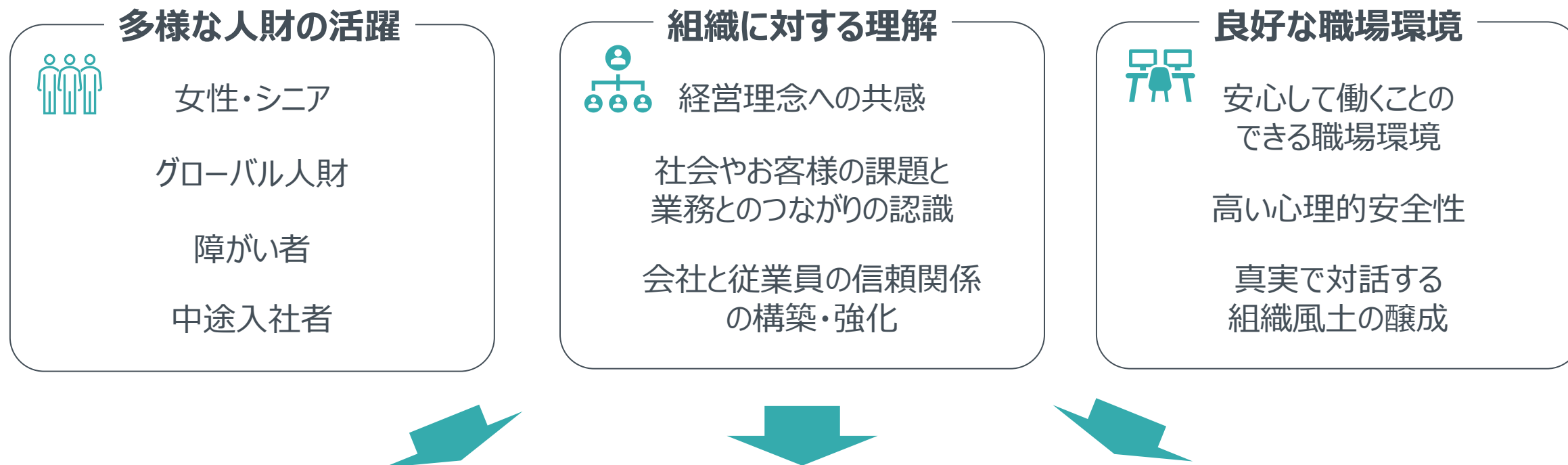


PME及びFAE 配置状況



企業価値の向上に向けて

従業員のエンゲージメントを高め、企業価値の向上につなげる



ロームで働く誰もが、自身の能力を最大限発揮できる環境の構築

多様な人財が個性・能力を発揮し、「ONE ROHM」としてのチームワークも発揮することにより、イノベーションを創出し、社会課題の解決に寄与する製品・技術を生み出す

従業員エンゲージメントの向上

一人ひとりの能力が最大限に発揮されるよう人事施策・制度の充実・強化

エンゲージメントサーベイの実施状況

▼ローム単体

年度	対象者数	回答者数	回答率	スコア
2021年度	3,625	3,606	99.5%	76.0%
2023年度	4,004	3,744	93.5%	75.0%

▼国内外グループ会社32社(ローム単体除く)

年度	対象者数	回答者数	回答率	スコア
2022年度	19,761	17,743	89.8%	91.0%

※「持続可能なエンゲージメント」に関する設問に対し、好意的な回答を行った従業員比率をスコアとして表記しています

重要指標である「持続可能なエンゲージメント」に関する設問群に対して、好意的な回答を行った従業員は75%。
（業界平均である製造業基準値を上回る結果）

一方、組織のリーダーが従業員との対話を通じて課題解決のためのアクションにつなげることや、さらに対話の風土を醸成していく必要性を確認。

社長と従業員との座談会



「対話」の組織風土の醸成に向けて、社長と従業員との少人数での座談会を実施（次ページ以降で紹介）

ジョブポスティング（社内公募）制度



社員一人ひとりが主体的・継続的に自らのキャリア形成に向き合うと共に、人財の内部流動性を高める制度

スペシャリスト職制度



「スペシャリスト職」として高度専門スキルを有する社員を認定し、その道の第一人者としてのキャリアパスを明確化する制度

従業員エンゲージメントの向上

経営陣が従業員と直接対話する機会を通じて、双方の想いを理解しながら
企業目的に対する共感を高める

従業員との座談会



- ・従業員有志による「組織風土委員会」との座談会を開催
- ・管理職とも毎年座談会を実施

管理職 座談会は、**64回開催・452名** が参加

新技術・新商品発表会×web café

年2回 開催している「新技術・新商品発表会」に併せて、
2022年～エンジニアによる座談会（web Café）を実施。



社内技術の相互理解を通じて、新商品・新技術のアイデア
創出や課題解決の円滑化を図ると共に、役員・フェローらが
参加して、双方の想いを理解・共感する場。

2024年春の開催時は、**673名** が参加
2022年からの累計で**2,200名超** が参加

従業員エンゲージメントの向上

国内外で“ONE ROHM”としてのチームビルディングを展開

機能部門におけるグループ全体会議

品質管理、IT、法務、環境、社会貢献などのテーマで、国内外の各拠点と本社の担当が一堂に会し、グループ目標の確認や、メンバー間の協力体制を強化する会議を開催。



ロームグループITサミット



社会貢献活動情報共有会



ロームグループ経営者ミーティング

海外販社でのワークショップ

戦略立案、リーダーシップ、コミュニケーション能力の強化などに向けたチームビルディング活動や、優れた功績と貢献をもたらした従業員への表彰などを各地域で実施。



ROHM Semiconductor Singapore



ROHM Semiconductor India



ROHM Semiconductor (Thailand)

従業員エンゲージメントの向上

会社に貢献した従業員を称える社内表彰制度

社長賞

海外を含めた全ロームグループ従業員が対象。
新技術や新商品の開発、生産性向上、地域や
社会への貢献など社員の1年間の活動を表彰



発明賞

知的財産活動を評価するためにロームグループ
独自の評価基準を設定し、評価基準に達した
技術者をローム発明賞受賞者として毎年表彰



女性活躍の推進に向けて

女性活躍推進の制度整備に加え、個人の意識変革を促すような企画や社内広報を実施 自治体との連携による次世代育成に対しても積極的に受け入れ

女性の健康や働き方に関する情報発信



プラチナくるみん認定の取得



ピンクリボン京都への賛同



オンラインセミナー

2024.07.31(水)

時間 / 14:00~15:00

URL/ お申し込みの方に送付します

オンデマンド配信

【視聴方法】
オンラインセミナー開催後、一
部編集して、ご希望の方に動画
を配信いたします。

性別にかかわらず、
参考にしていただける
内容です。



オンラインも
オンデマンドも
こちらのQRから
お申込みに進めます

お申込みにいただいた方には
がんに関する小冊子プレゼント！
(希望制、先着順)



講師 久家 麻美さま

【がん対策推進企業アクション認定講師】

- ・2018年子宮頸がん検診受診し、ステージⅡB期の子宮頸がん
腺癌の診断となる。子宮・卵巣全摘、骨盤内リンパ郭清し、抗
がん剤治療はせずに治療終了。現在は再発なく5年経過。
- ・健診機関にて健診後の保健指導やがん啓発活動に関わっている。
- ・すい臓がん患者家族。

就労世代に多い女性のがんに
関する社内セミナー

ガールズテックプログラム 職場見学受け入れ

福岡県が主催する女子中・高生向けのテクノロジー分野への
職場見学プログラムをローム・アポロで受入。(2024年7月)
女性エンジニアから半導体の役割や製造法を説明し、現場
見学を通じて、新たな進学・就職先としての魅力を発信。



サプライチェーン・マネジメント

緊密なコミュニケーションを通じた継続的な信頼関係・協力関係を重視。
部材品質の確保や安定供給に加え、労働・倫理や環境面に配慮したCSR調達で、
お取引先と一体となったサプライチェーンの強化を図る

■ ロームグループサプライチェーンマネジメント方針

以下7つの方針に基づき、調達・物流活動を展開。

1. 相互信頼・相互繁栄
2. 公平・対等な取引
3. 公正な選定
4. 製品・サービスの付加価値の適切な評価と配分
5. グリーン物流の推進
6. CSR調達／CSR物流
7. 安全保障輸出管理



■ お取引先との評価・監査プログラム

1

活動総合評価

毎年実施

- ①製品品質、②納期、③価格、④供給の継続性、
⑤CSR調達セルフアセスメント(下記)の結果、から総合的に評価

2

CSR調達セルフアセスメント

毎年実施

RBA行動規範に準じた、労働(人権含む)、安全衛生、環境、倫理、
マネジメントシステムに加え、情報セキュリティ、調達BCP、物流、品質
コンプライアンスに関して自己評価を実施いただく。
課題が抽出された場合は、対話を通じた是正・改善指導を実施。

3

CSR調達監査（重要お取引先対象）

ロームの方針や考え方、取り組みの重要性への理解・賛同を得ることを
目的に、セルフアセスメントの内容を確認し、必要に応じて改善を要請。

4

調達BCP（事業継続計画）

四半期ごとに実施

安定供給を行う上でのリスクとその影響度を評価し、特定した重要な
リスクに対して四半期ごとに対応状況を確認。

サプライチェーン・マネジメント（人権問題への対応）

RBA*行動規範に基づき、ロームグループの人権方針のもと、お取引先への周知・リスク評価を行うと共に、改善要請などのリスク対策を実施。

*Responsible Business Alliance

■ロームグループ人権方針

基本的な考え方

ロームは、「人権とは、世界中の全ての人が持っている基本的な権利であり、自由であり、待遇のための基準」と捉えています。本方針は、ロームグループの事業活動における人権尊重への取り組みに関する全ての文書・規範の上位方針に位置づけられており、世界中でロームグループが行うありとあらゆる活動に適用されるものです。

ロームグループはグローバルに事業を展開する企業として、人権が尊重された持続可能な社会の構築が重要との認識のもと、人権の尊重を事業活動における最も基本的な要件の一つとして重視し、特に以下の国際原則・規範を支持・準拠し尊重しています。

また、万が一、当該国の法規制と国際的な人権規範が異なる場合は、より高い基準に従い、相反する場合には、国際的に認められた以下の原則や規範に従い、人権を最大限尊重する方法を追求します。

ロームグループが支持する国際原則・規範

- ・国連グローバルコンパクトの10原則
- ・世界人権宣言
- ・国際労働機関（ILO）「労働における基本原則および権利」
- ・国連ビジネスと人権に関する指導原則
- ・OECD多国国籍企業行動指針
- ・ISO26000
- ・RBA（Responsible Business Alliance）行動規範

■ロームグループにおける人権DD

🔊 RBA行動規範に基づいた
SCMガイドラインの作成・配布



📋 お取引先での書面調査
(CSR調達セルフアセスメント)

🔍 お取引先のリスク評価

🗣️ お取引先との対話を通じた
改善要請の実施
(オンライン/現地)



■お取引先への要請

SCMガイドラインを通じて、
お取引先においても従業員に
対する通報窓口の整備を要請

当社との取引に関する問題を相談・通報
できる窓口として、お取引先向けコンプライアンスホットラインを整備し、周知。



お取引先との
面談用の会議室
などに案内を設置

お取引先向けコンプライアンス・ホットライン
<https://www.rohm.co.jp/compliance-hotline>

▼ロームグループ人権方針

<https://www.rohm.co.jp/sustainability/foundation/human-rights>

1. ロームグループの目指す姿
2. 製品・技術を通じた社会課題解決
3. **ロームグループの企業活動を通じたESG経営**
 - ・ E(環境)：気候変動への対応
 - ・ S(社会)：人的資本経営
サプライチェーンマネジメント
 - ・ **G(ガバナンス)：コーポレートガバナンスの改革・強化**
4. 社外からの評価

コーポレートガバナンスに関する考え方

経営上、重要な課題の一つとして、2000年以降、コーポレートガバナンスを改革・強化

方針の制定

- ・内部統制システム構築の基本方針の策定（**2006年**）
- ・ローム・コーポレートガバナンス・ポリシーの策定（**2015年**制定、**2018年**と**2021年**に改正）
- ・取締役の株式保有に関する方針の策定（**2024年**）

取締役の 多様性

- ・社外取締役の選任（**2008年**初選任）
- ・女性社外取締役の就任（**2019年**初選任、**2022年**以降、複数名を選任）
- ・外国人社外取締役の就任（**2022年**初選任）

監督と 執行の分離

- ・監査等委員会設置会社へ移行（**2019年**）
- ・取締役会の半数を社外取締役で構成（**2022年**～）
- ・取締役会議長に社外取締役が就任（**2024年**～）

制度・組織 の整備

- ・コンプライアンス委員会発足、内部通報制度設置（**2007年**～）
- ・取締役報酬協議会設置（**2012年**）
- ・役員指名協議会設置（**2018年**）
- ・CSR委員会設置（**2011年**）→ サステナビリティ経営委員会・EHSS統括委員会に改組（**2022年**）

コーポレートガバナンスの改革・強化

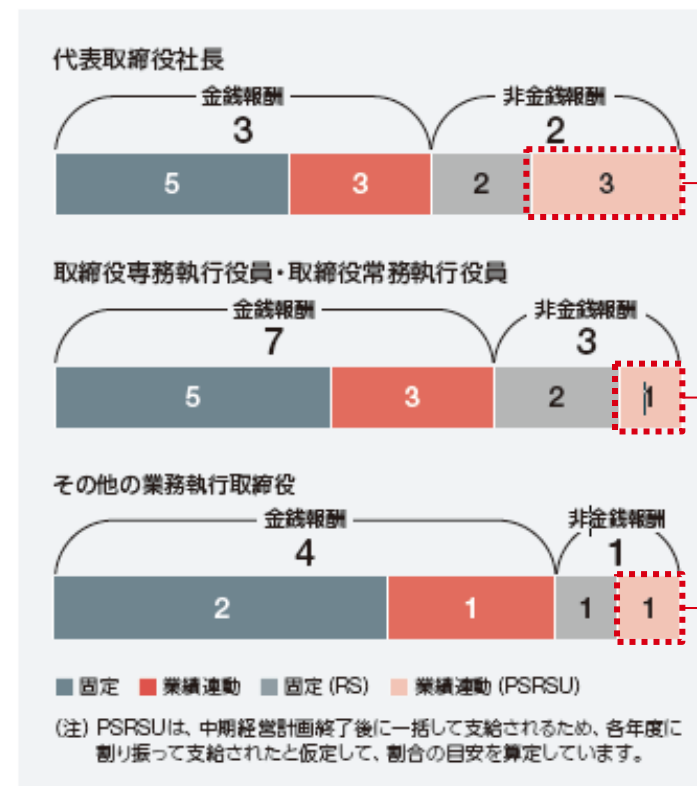
社外取締役による監督機能を強化。公正かつ透明性の高い経営体制を構築

●各機関の構成員と開催実績(2024年6月26日現在)

機関	構成	開催実績 (2023年度)
取締役会	議長 取締役14名 (うち社外取締役7名)	15回
監査等委員会	委員長 監査等委員4名 (うち社外取締役3名)	15回
経営執行会議	社長 執行役員16名 (うち取締役6名)	19回
取締役報酬協議会	議長 取締役5名 (うち社外取締役4名)	9回
役員指名協議会	議長 取締役5名 (うち社外取締役4名)	7回
サステナビリティ経営委員会	委員長 取締役6名 (うち社外取締役1名)	11回

●役員報酬への非財務指標の組み込み

報酬の割合の目安(目標値を100%達成した場合)



中期経営計画
に連動した
業績評価指標
の達成度合い
に応じて評価

業績評価指標

財務：ROE

非財務：GHG排出量、グローバル女性管理職比率
ロームグループ従業員エンゲージメント

サステナビリティマネジメント体制

“経営”と“執行”を分離し、意思決定の迅速化と監督機能の強化を両立

サステナビリティマネジメント推進体制

- 経営と執行の役割を明確に分離し、意思決定の迅速化と監督機能を強化

- 経営側：

サステナビリティ経営委員会

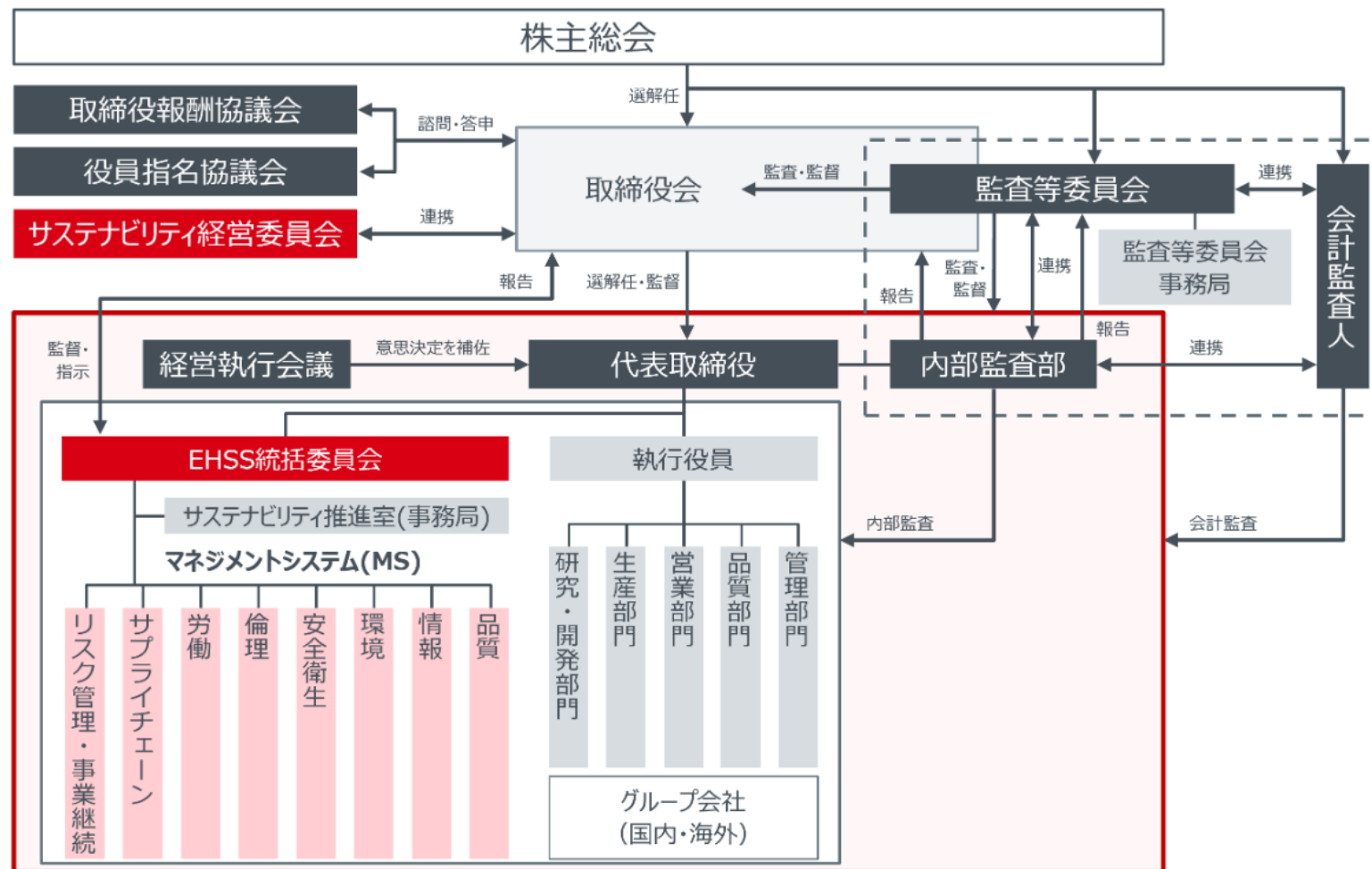
取締役会と連携し、サステナビリティに関する方針、方向性、長期目標などについて議論

- 執行側：

EHSS統括委員会

傘下にある8つのマネジメントシステムで、課題・リスクを網羅し、目標達成に向けて取り組む

※EHSS: 環境 (Environment) 健康・衛生 (Health)
安全 (Safety) サステナビリティ (Sustainability)



1. ロームグループの目指す姿
2. 製品・技術を通じた社会課題解決
3. ロームグループの企業活動を通じたESG経営
 - ・ E(環境)：気候変動への対応
 - ・ S(社会)：人的資本経営
サプライチェーンマネジメント
 - ・ G(ガバナンス)：コーポレートガバナンスの改革・強化
4. 社外からの評価

GPIFが採用する6つのESG指数(国内株)のうち5つの構成銘柄に採用



半導体・半導体製造装置業界の上位15%の企業として、
S&P Global社「Sustainability Yearbook Member」に選定



ROHM Co., Ltd
Semiconductors & Semiconductor Equipment

**Sustainability
Yearbook Member**

S&P Global Corporate Sustainability
Assessment (CSA) Score 2023

S&P Global CSA Score 2023: 66/100
Score date: February 7, 2024
The S&P Global Corporate Sustainability Assessment (CSA) Score is the S&P
Global ESG Score without the inclusion of any modeling approaches.
Position and scores are industry specific and reflect exclusion screening criteria.
Learn more at <https://www.spglobal.com/esg/csa/yearbook/methodology/>

S&P Global



「MSCI ESGレーティング」にてAA評価を取得
「MSCI 日本株ESGセレクト・リーダーズ指数」に選定

MSCI
ESG RATINGS



CCC B BB BBB A **AA** AAA

**2024 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数**



「FTSE4Good Index Series」、
「FTSE Blossom Japan」、
「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」
構成銘柄に継続選定



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



CDP「水セキュリティ調査」で
最高評価の「Aリスト」に選定
「気候変動」はA-に選定



Ecovadis社のサステナビリティ評価
において、シルバーメダル(上位15%)



「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」、
「Morningstar日本株式 ジェンダーダイバーシティ・
ティルト指数(除くREIT)」に選定

品質や環境課題改善に継続的に取り組む姿勢は、さまざまなお客様から高く評価

お客様からの受賞事例

●2023年度

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社様より、「プレミアパートナー」を受賞

Panasonic System Networks Malaysia Sdn Bhd (PSNM)様より、「Best Supplier AWARD 2023」を受賞

Panasonic System Networks Vietnam Co.,Ltd (PSNV)様より、「Best Supplier AWARD 2023」を受賞

富士電機株式会社 鈴鹿工場様より、「QCDSベストサプライヤ賞」を受賞

三菱電機株式会社 福山製作所様より、「品質優良表彰」を受賞

Bosch様より、「サステナビリティ」部門で「Supplier Award」を受賞

住友電気工業様より、「SDGs特別賞」を受賞

サンデン株式会社様より、「Excellent Quality Awards」を受賞

●2022年度

Vitesco technologies様より、「Supplier of the Year 2022」を受賞

Continental様より、「Supplier of the Year 2022」を受賞

古河電気工業様より、「Environmental Award 2022」を受賞

Electronics for the Future

ロームは、**エレクトロニクス**の技術で、社会が抱える様々な課題を解決し、未来に向けて、人々の豊かな暮らしと、社会の発展を支え続けていきます。

ご清聴ありがとうございました



Electronics for the Future